



PRESS RELEASE

平成30年9月18日 (火)

平成30年度「全国学力・学習状況調査」の結果からみた

飯田市の子どもたちの実態と保護者や地域の学校支援の状況をお伝えします



4月17日に実施した「平成30年度全国学力・学習状況調査」の結果から、学習状況に関わる児童生徒の生活実態や学校を取り巻く教育環境について、家庭や地域ぐるみで更なる向上を図っていくために、現時点の分析結果を報告します。なお、教科に関する学力調査の分析結果は、今後の改善策と合わせて11月に報告する予定です。

【内容（基本事項）】

- ① 4月17日に行われた「全国学力・学習状況調査」のうち、学習環境、生活側面、教育環境などについて、児童・生徒と学校が回答した質問紙調査の結果を、事務局で分析した。
- ② 食生活や就寝時刻などの調査結果から、飯田市の小中学生は基本的な生活習慣が身につけていることがわかる。また、「自分には良いところがあるか（自己肯定感）」・「人の役に立つ人間になりたいか（自己有用感）」を問う設問では、肯定的な回答がここ数年で大きく伸びている。
- ③ 小中学校とも、地域行事への参加の割合が、全国と比べたいへん高い。（小学校+20.8ポイント、中学校+23.1ポイント）また、コミュニティスクールの仕組みを生かした保護者や地域の人の地域学校協働活動への参加率が飯田市の小中学校では100%（小学校+27.2ポイント、中学校+39.3ポイント）であり、学校の教育水準の向上に及ぼす効果についても高く評価されている。

【アピールポイント】

- ① 飯田市の小中学生の自己肯定感は2年連続で、自己有用感は昨年度に比べて大きく伸びている。このことは不登校対策にも有効と考える。「わが家の結いタイム」の取組を中心に、家庭教育の充実のための啓発を継続する。
- ② 地域行事への参加の割合の高さを生かし、今後は単なる行事参加にとどまらず、地域の一員としての自覚を持って、地域のために主体的に参画しようとする姿勢を養うことが必要である。
- ③ 全市内で展開が始まった「飯田コミュニティスクール」は順調にスタートしており、「善い学校が善い地域をつくる」「善い地域が善い学校をつくる」という理念の実現をめざし、学校運営協議会や地域学校協働活動の取組を更に充実していく。

添付資料の有無

なし あり（別添のとおり）

飯田市ウェブサイトへの掲載

なし あり

後日掲載（11月頃）

発表の趣旨

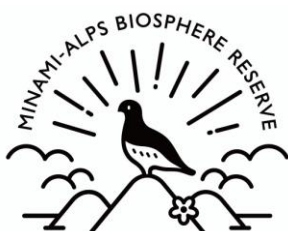
政策・施策・事業等の発表

イベント等の事前告知

当日の取材依頼 市民・対象者等に対する周知依頼

イベント・事故等の事後告知

その他



南アルプス
ユネスコエコパーク

問い合わせ先

飯田市教育委員会学校教育課

担当：高坂 徹 内線：3720

電話：0265-22-4511

FAX：0265-23-8996

Email: 4301@city.iida.nagano.jp